【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年10月30日(2024.10.30)

【国際公開番号】WO2023/162745
【出願番号】特願2024-503029(P2024-503029)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｇ 73/10(2006.01)
Ｂ３２Ｂ 27/34(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｇ 73/10
Ｂ３２Ｂ 27/34

【手続補正書】
【提出日】令和6年5月29日(2024.5.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
テトラカルボン酸二無水物残基及びジアミン残基を有するポリアミド酸であって、
前記テトラカルボン酸二無水物残基は、３，３’，４，４’－ビフェニルテトラカルボン酸二無水物残基及び３，３’，４，４’－ベンゾフェノンテトラカルボン酸二無水物残基を含み、
前記ジアミン残基は、ｐ－フェニレンジアミン残基及び１，３－ビス（４－アミノフェノキシ）ベンゼン残基を含み、
前記３，３’，４，４’－ビフェニルテトラカルボン酸二無水物残基の含有率が、前記テトラカルボン酸二無水物残基の全量に対して、５５モル％以上８５モル％以下であり、
前記３，３’，４，４’－ベンゾフェノンテトラカルボン酸二無水物残基の含有率が、前記テトラカルボン酸二無水物残基の全量に対して、１０モル％以上３０モル％以下である、
ポリアミド酸。
【請求項２】
前記ｐ－フェニレンジアミン残基の含有率が、前記ジアミン残基の全量に対して、７５モル％以上９５モル％以下である、請求項１に記載のポリアミド酸。
【請求項３】
前記テトラカルボン酸二無水物残基は、ピロメリット酸二無水物残基を更に含み、
前記ピロメリット酸二無水物残基の含有率が、前記テトラカルボン酸二無水物残基の全量に対して、３モル％以上１５モル％以下である、請求項１に記載のポリアミド酸。
【請求項４】
請求項１に記載のポリアミド酸のイミド化物であるポリイミド。
【請求項５】
請求項４に記載のポリイミドを含む非熱可塑性ポリイミドフィルム。
【請求項６】
請求項５に記載の非熱可塑性ポリイミドフィルムと、前記非熱可塑性ポリイミドフィルムの少なくとも片面に配置された、熱可塑性ポリイミドを含む接着層とを有する複層ポリイミドフィルム。
【請求項７】
前記接着層は、前記非熱可塑性ポリイミドフィルムの両面に配置されている、請求項６

に記載の複層ポリイミドフィルム。
【請求項８】
請求項６に記載の複層ポリイミドフィルムと、前記複層ポリイミドフィルムの少なくとも一方の前記接着層の主面に配置された金属層とを有する、金属張積層板。